

CITIZEN

取扱説明書番号
D232-CGXD

室内用

温度湿度計 取扱説明書
(快適環境表示/高精度センサー/電波時計)

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元

リズム株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

(Y2507)

GUARANTEE 保証書			
※品名・型番			
※保証期間		お買い上げ 年 月 日より 1年間	
お客様 氏名		様	
ご住所			
TEL() -			
※販売店印(所在地、店舗名、電話番号)			
※印は販売店記入			

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社総合サポートにお問い合わせください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路などの修理用性能部品は製造打ち切り後、5年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この製品の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

リズム総合サポート
https://rhythm.jp/support/

商品照会の際は、製品裏面または底面に表示してある製品番号(型番)をご確認ください。例. 8RZ〇〇〇
お客様相談室:0120-557-005 受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明

⓪は、禁止(してはいけないこと)を示しています。
①は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

❗

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

🚫

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

●電池に傷をつけない。

●電池を分解しない。

●電池をショートさせない。

●電池を充電しない。

●電池を加熱しない。

●電池を火の中に入れない。

🚫

梱包用のポリ袋をかぶらない
窒息するおそれがあります。

🚫

電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社総合サポートにお問い合わせください。

注意

傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

❗

電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

🚫

強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

🚫

浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。

🚫

ぬれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。

🚫

分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

🚫

液晶から漏れた液に素手でさわらない
液晶が破損して漏れた液には絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐに石けんで洗い流してください。

🚫

下記のような場所では使わない
性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

●直射日光が当たる所。

●暖房機器の風が当たる所。

●温度が-10℃以下または+50℃以上の所。

●火気のそば。 ●ほこりが多く発生する所。

●強い磁気を発生させる機器のそば。

●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。

●プール、温泉場などガスの発生する所。

●調理場など多くの油を使用する所。

●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント

正しく使って事故をなくしましょう

●プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。

●製品が動いていても定期的に交換する。

●長期間使用しないときは電池を取り外す。

●製品が止まったらすぐに電池を取り外す。

●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。

●幼児の手が届かない所に置く。

●古い電池と新しい電池を混ぜない。

●種類の異なる電池を混ぜない。

■電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

●一般に充電式の電池は電圧が低く、本製品には不向きですので使用しないでください。

●一部の電池は、形状的に本製品には不向きなものがあります。 (例:Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

■電池の寿命について

●温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。

🔋 電池の交換時期お知らせ機能

🌡️ 電池の交換が必要になると電池マークが表示されます。電池マークが表示されたときは、早めに新しい電池に交換してください。

⚠️ 注意

電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

❗

電池からの液漏れにより、修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

●古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。

●動いていても1年に1回定期的に交換する。

●電池の⊕⊖を逆に入れない。

※単3形アルカリ乾電池を使用することができます。使用するときは2本とも同じ種類の電池を使用してください。

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2か所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(https://jjy.nict.go.jp)
※アドレスは変更になる場合があります。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

電池・製品の廃棄

●お住まい地区自治体の指定に従ってください。

●製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はゼロハンテープなどで絶縁してください。

お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からびさしてください。

●ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃(液晶表示可読温度範囲0～40℃) *結露しないこと
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒(常温中のクォーツ精度)
使用電池	単3形マンガン乾電池 JIS規格 R6P 2本 ※単3形アルカリ乾電池を使用することができます。
電池寿命	約1年
電池の交換時期お知らせ機能	あり 液晶に電池マークが表示
標準電波受信局	標準電波を受信して日付・時刻を修正 福島局/九州局自動選択
受信回数	8回/日
受信開始時刻	1時～4時、13時～16時 各時間帯の16分40秒に開始
受信ON/OFF	あり ボタン操作にて切替可能
温度表示	-9.9～50℃
温度精度	±1℃
湿度表示	20～95%RH(注)
湿度精度	±3%RH 25℃、60%RH において

(注)「%RH」は相対湿度を表しています。天気予報など一般的には「%」で表示されています。

※液晶はその特性上、0℃未満になると表示反応が遅くなり、表示が薄くなる場合があります。40℃を超えると表示が濃くなり、ムラに見えることがあります。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。

※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の使用電池に交換した場合に適用となります。

※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品 保証書 1枚

CITIZENの商標は、シチズン時計株式会社のライセンスに基づき使用されています。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

海外でのご使用について

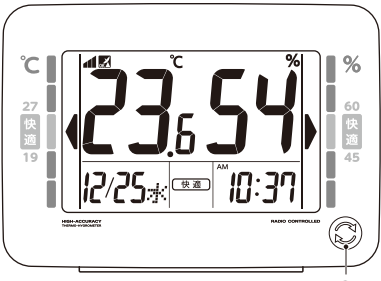
この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でのご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

電池は付属しておりません。単3形乾電池を2本ご用意ください。

各部の名称と役割

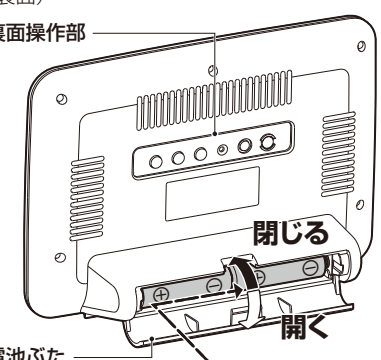
◎図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

(正面)



(裏面)

裏面操作部



電池ふた

閉じる

開く

(裏面操作部)

最高/最低 戻る 進む リセット 強制受信 時刻合わせ

④ ③ ② ① ⑥ ⑤

①リセット — 誤作動を防ぐために電池を入れた直後に押す。

②進む(+) ③戻る(-) — 手で日時を合わせるときに使用。

④最高/最低 — 24～25時間以内の温度・湿度の最高/最低値を確認するときに押す。

⑤時刻合わせ — 手で日時を合わせるときに使用。

⑥強制受信 — すぐに電波の受信を開始させたいときに押す。

⑦表示切替 — 温度・湿度と時刻のメイン表示を切り替えるときに押す。

本体正面より見てください。液晶は見える方向により薄くなったり、ムラになったりします。

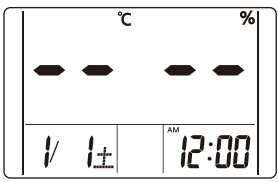
●電池の⊕⊖を指示と逆向きに入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。

1 使いはじめるとき 電池を入れて、標準電波を受信して日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手で時刻を合わせるときには、**（手動での時刻合わせ）**をお読みください。

【受信の流れと表示】

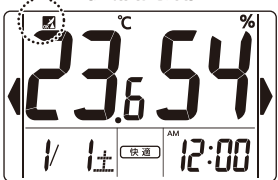
〈リセットを押した直後〉



受信マーク (受信中点滅)

↓

〈受信開始〉



① 電池を入れる

② リセットを押す

温度・湿度メイン表示となり、受信マークが点滅し受信を開始します。

※受信中はボタンに触れないでください。

③ 20分待つて受信結果を確認する

受信時間は最長で20分です。受信マークで受信結果を確認してください。

【受信の流れと表示】参照

電源投入直後およびリセットを押した直後は、2022年1月1日 午前12:00に設定されます。

受信マークの変化(電波サーチ機能)
電波の状態により変化します。

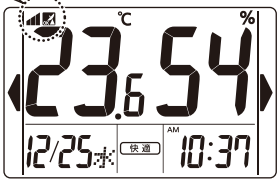
受信できない 受信しやすい



チェック!
1～2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットを押し、再度受信を開始させてください。

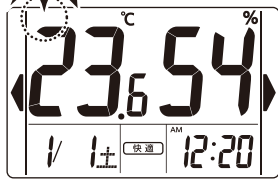
三
〈受信終了〉
最長20分後

受信成功
受信マークが点灯



(受信に成功したときの表示例)

受信マーク消灯
失敗!



(受信に失敗したときの表示例)

※受信に失敗した場合は、時刻や日付は正しくありません。

- 受信マークは受信成功後、24～25時間点灯。
- 受信に成功しても、電氣的なノイズにより誤った時刻や日付を表示することがあります。このようなときには、場所を変えてリセットを押しして再度受信を試みてください。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのままにしておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておく受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える/受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ざわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に本体の正面または裏面が向くように置き直し、リセットを押しして結果を確認します。

標準電波を受信できないときには、手動で日付と時刻を合わせて、ご使用ください。

手動での時刻合わせ

電波が受信できない場合は、下記の手順に従い手動で時刻を合わせてください。
手動で時刻を合わせても、自動受信を行い、受信に成功すると日時を修正します。

操作例に従って、年(西暦)、月、日、時刻(時、分)の順に設定してください。

操作例:2024年12月25日 午前10:37に合わせる

①



②年



③月

④日



⑤時

⑥分

①「年(西暦)」が点滅するまで**時刻合わせ**を約2秒間押し続ける。

点滅している数値を**進む(+)**または**戻る(-)**で合わせてから**時刻合わせ**を押すと数値を確定して次に進みます

ボタン 押してすぐ離す 押し続ける

進む(+) 1つ進む 早送り

戻る(-) 1つ戻る 早戻し

②年(西暦)を合わせる

③月を合わせる ④日を合わせる

⑤時を合わせる ⑥分を合わせる

※①～⑥の設定中に「進む」または「戻る」を押すと、設定後に0秒から開始します。

以上で設定は終わりです。

- 表示の設定が12時間表示か24時間表示かをご確認のうえ、時刻合わせをしてください。
- 約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
- 標準電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。
- 電波受信機能がONのときは、受信に成功すると日時を自動修正します。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、表示の一部が欠けるなど正常に機能しなくなることがあります。このようなときは**リセット**を押ししてください。

2 温度と湿度表示

本製品は、一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。

- センサーが本体内部にあるため、本体周囲の温度・湿度変化をすぐには反映しません。
- 直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近く、温室、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。

- ※設置する高さによっても温度・湿度が変わります。また、湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよいところと悪いところでは違いがでます。
- ※厳密な温湿度管理をする用途には適していません。また、温湿度の証明や商取引には使用できません。
- ※測定はリセット直後と、その後は1分間隔で測定します。

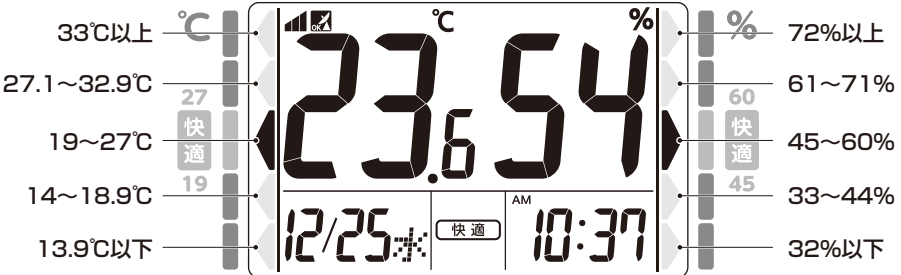
測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度「H」50℃を超える高温 「LD」-9.9℃未満の低温

湿度「H」95%を超える多湿 「LD」20%未満 「--」測定不可

※湿度は温度が5～50℃のときに測定可能

■ 快適状態カーソル表示
温度と湿度の快適状態をカーソルで表示します。



※上の図では、温度・湿度ともに「快適」を指しています。
※快適状態の体感は、温度と湿度以外に空調の風速などの条件によっても左右されますので、表示と実際の体感には違いが生じることがあります。また、個人差によっても違いが生じることがありますので、空調や体調管理などの目安としてお使いください。

■ 快適状態/注意報表示
温度と湿度から導き出した数値から、快適状態のほか、熱中症やインフルエンザの注意報など、お部屋の環境目安をお知らせします。

熱中症

快適

インフルエンザ

A

※左の図では、「インフルエンザ」が対象になっています。どの項目にも該当しない場合は表示しません。

※快適状態は点灯、注意報は点滅で表示します。

※表示により発生の有無を断定するものではありませんので、空調や体調管理などの目安としてお使いください。

※公的機関から発表される「注意」や「警報」とは一致しないことがあります。

熱中症
高温環境下で、体内の水分や塩分などのバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして、発症する障害の総称です。気温、気流(風)、湿度、輻射熱の状態によっては、屋内外を問わず発生しやすくなります。こまめな水分補給、室温の調節、風通しをよくするなど体温の上昇を防ぐ必要があります。

インフルエンザ
湿度が低いとインフルエンザウイルスの生存率を高めるとともに、鼻・喉・気管などにある粘膜の繊毛の動きを弱め、ウイルスによる感染が起こり易くなります。
室内の湿度を調節したり、マスクを着用するなどの対策が必要になります。

■ 最高/最低値表示
最高/最低ボタンを押すと、24～25時間以内の温度・湿度の最高/最低値を表示します。

○最高/最低ボタンを押すと、メイン表示が温湿度の最高値に切り替わり、ボタンを押すたびに最高→最低→元の表示の順で切り替わります。
○約10秒間ボタン操作を中断すると、最高や最低値の表示が消えて元の表示に戻ります。
※最高/最低値の表示中は、「快適状態カーソル表示」「快適状態/注意報表示」は消灯します。
※手動で時刻を設定しているときは表示しません。

最高/最低の計測結果をクリアする
最高/最低ボタンを約2秒間押し続けると、最高と最低の値を破棄して、新しく記録を開始します。
○記録を開始した直後に、最高/最低ボタンを押すと、最高、最低の値を記録していないため、「--」が表示されることがあります。

3 表示の切り替え

■ 表示位置の切り替え

正面右下の**表示切替**を押すと、温度・湿度と時刻の表示位置が切り替わります。
※最高/最低値の表示中は、切り替えが出来ません。

温度・湿度メイン



時刻メイン



※温度の小数点以下は四捨五入されます。

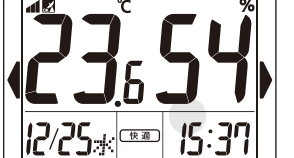
■ 時刻表示形式の切り替え

時刻合わせを押してすぐ離すと、AM(午前)/PM(午後)付の12時間表示と24時間表示が切り替わります。

12時間表示(温度・湿度メイン)



24時間表示(温度・湿度メイン)



12H/24H

12時間表示(時刻メイン)



24時間表示(時刻メイン)



12H/24H

AM(午前)/PM(午後) 12:00～11:59 00:00～23:59

強制受信とリセット操作について

強制受信 (受信機能がONのとき)
場所を移動したときなどに、**強制受信**を押すと受信を開始します。受信に失敗しても時刻は継続して表示します。次のようなときは受信を開始しません。

- 手動で時刻を設定しているとき
- 受信機能がOFFになっているとき

リセット
電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。
リセット直後は、2022年1月1日午前12:00になります。受信機能がONのときは、受信を開始します。

電波受信機能のON/OFFを切り替える

ON:定期的受信を行い、受信に成功すると日時を自動修正します。
OFF:電波を受信しません。遅れ進みが発生したときは、手動で日時を修正してください。
強制受信ボタンを約8秒間押し続けると、ONとOFFが切り替わります。

ONに設定



OFFに設定



○ON/OFFが切り替わるときは、日付表示部にON/OFFが約3秒間点滅します。

○ONIにしたときは、電波の受信を開始します。

※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作をやり直してください。